

学校の教育目標を具現化する カリキュラム・マネジメント

大阪教育大学
教授 田村 知子



独立行政法人教職員支援機構

目次

はじめに

1 学校の教育目標の意義

1.1.意図的な教育活動

1.2.チームづくりの要

1.3.教職員のウェルビーイング

2 なかなか意識されにくい学校の教育目標

3 学校の教育目標の共有と共創

3.1.実践事例 京都市立葵小学校

3.2.実践事例 山口県宇部市立上宇部中学校

3.3.実践事例 兵庫県立姫路北高等学校

おわりに

はじめに

文部科学省「これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」令和元年～令和4年度



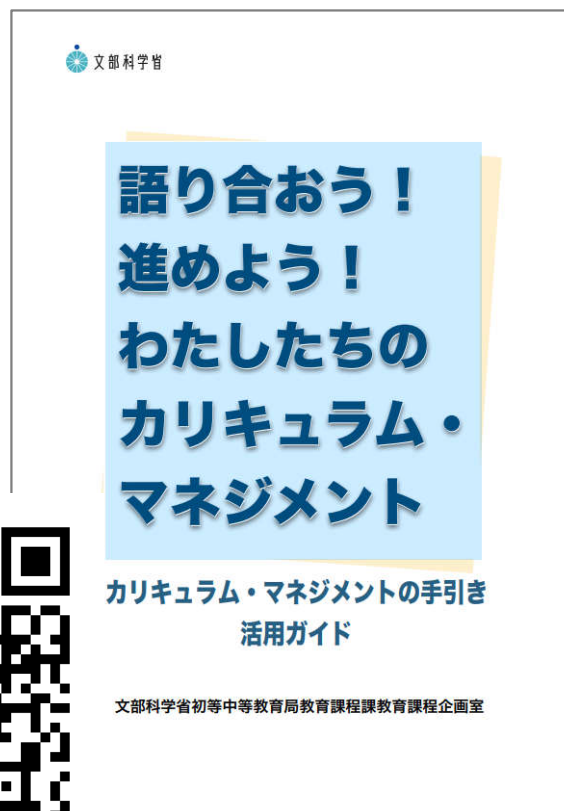
文部科学省ホームページ

「これからの時代に求められる資質・能力を育むための
カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」



文部科学省ホームページ

『カリキュラム・マネジメントの手引き活用ガイド』

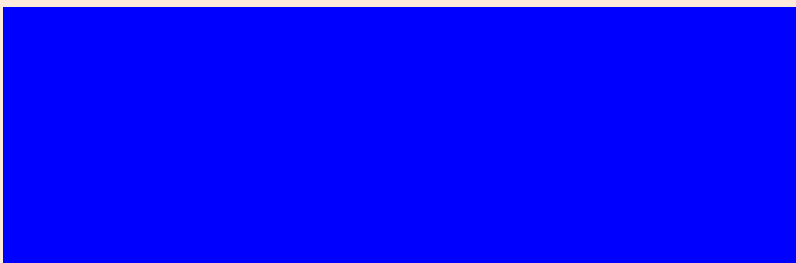


1 学校の教育目標の意義

勤務校の教育目標を覚えていますか？

その意味するところを，ご自身の言葉で語れますか？

めざす子供の姿や育成する資質・能力を
意識しながら日々の教育活動に従事していますか？



「創造的実践人の育成」

- 科学的精神を育てる
- 素直な心を育てる
- 困難に打ち克つ逞しさを育てる
- 身体を鍛える

福岡教育大学附属小倉中学校 校訓と教育目標

1 学校の教育目標の意義 1.1.意図的な教育活動

高等学校学習指導要領「総則」

「教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科・科目等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。」

小学校及び中学校学習指導要領にも同様の記述

1 学校の教育目標の意義 1.1.意図的な教育活動

教育基本法
(学校教育)

第6条

2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。



学校教育 → ○意図的 ○計画的 ○組織的



教育目標が必要

1 学校の教育目標の意義 1.1.意図的な教育活動

タイラーの原理 Tyler rationale

タイラー著（金子孫市監訳1978,原著1949）

『現代カリキュラム研究の基礎』社団法人日本教育経営協会

① 目的から目標へ

学校はどのような教育目標を設定するのか？

② 教育的経験の選択

目標達成のためにはどのような教育経験が必要か？

③ 教育的経験の組織

それらの教育経験をどのように組織するのか？

④ 結果の測定

目標が達成されたかどうかをどうやって評価するか？

1 学校の教育目標の意義 1.2.チームづくりの要

「チーム」の条件

- ①達成すべき**目標が存在**すること
- ②メンバーどうしは、協力して課題や作業に取り組むとともに、チームの**目標達成のために**互いに依存しあう関係にあること
- ③各メンバーに果たすべき役割が割り振られること
- ④チームのメンバーとそれ以外の人々との境界は明瞭であること

山口裕幸（2008）『チームワークの心理学』サイエンス社

1 学校の教育目標の意義 1.3.教職員のウェルビーイング

1 「働き方改革」

目標の明確化は、重点的に取り組むことの選択。
裏返せば「行わないこと」の選択。

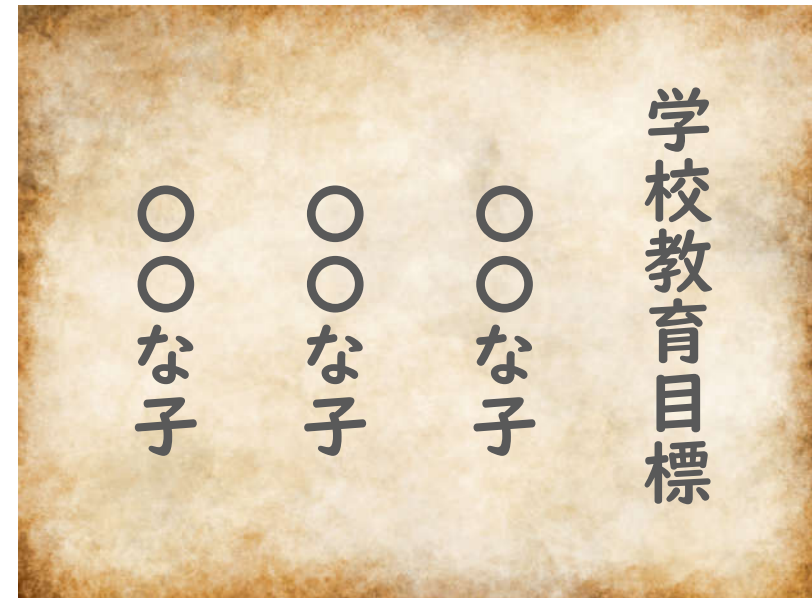
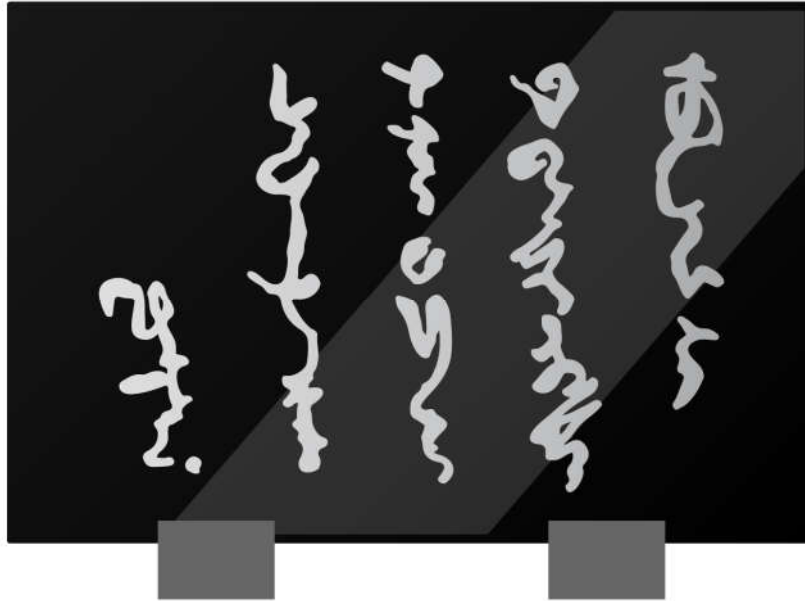
2 「働きがい改革」

納得感をもって共有された学校の教育目標は、教職員にとって、自らの能力と時間と努力を注ぐ方向性を明確にする。その観点でフィードバックを。

3 社会関係資本（人と人のつながり）

目的・目標の共有は、組織に連帯を生み出し、学校全体の一体感を醸成。

2. なかなか意識されにくい学校の教育目標



2. なかなか意識されにくい学校の教育目標

項 目	平均値	中央値	標準偏差	平均値			
	全体	全体	全体	小学校	中学校	高校	特別支援学校
Q25.校長は、教育と経営の全体を見通し、ビジョンや戦略を示している。	3.41	4	0.66	3.41	3.47	3.34	3.20
Q03.学校の教育目標や重点目標は、「児童・生徒につけたい力」「めざす児童・生徒像」として具体的に記述されている。	3.36	3	0.66	3.35	3.47	3.23	3.12
Q02.学校の教育目標や重点目標は、児童・生徒や地域の実態を踏まえて設定されたものである。	3.33	3	0.62	3.33	3.36	3.32	3.24
Q01.学校全体の学力傾向その他の実態や課題について、全教職員の間で共有している。	3.23	3	0.63	3.29	3.24	3.10	2.90
Q21.大方の教職員は、学校が力を入れている実践(特色)を具体的に説明できる。	2.97	3	0.69	3.05	2.95	2.89	2.66
Q04.学校経営計画、学年経営案、学級経営案は、それぞれの目標や内容が連動するよう作成されている。	2.97	3	0.75	3.09	2.92	2.76	2.90
Q17.教育課程の編成、評価や改善には全教職員が関わっている。	2.89	3	0.85	3.01	2.90	2.63	2.78
Q27.中堅教員は、ビジョンをもとにカリキュラムの工夫や研究推進の具体策を示して実行している。	2.88	3	0.67	2.92	2.90	2.78	2.78
Q29.学校の教育の成果と課題を保護者・地域と共有し、共に解決策を考えたり行動したりする機会がある。	2.86	3	0.71	2.90	2.83	2.79	2.83
Q07.大方の教職員は、学校の教育目標や重点目標を意識して授業や行事に取り組んでいる。	2.85	3	0.69	2.94	2.86	2.67	2.63
Q24.大方の教職員には、自分の担当学年・教科だけでなく、学校の教育課程全体で、組織的に児童・生徒を育てていくという意識が強い。	2.85	3	0.75	2.95	2.90	2.58	2.54

N=1,197(小学校:572, 中学校:354 ,高校:230, 特別支援学校41)

田村知子（2022）『カリキュラム・マネジメントの理論と実践』日本標準p.70

3 学校の教育目標の共有と共創

「共有ヴィジョン」

第1段階	命令	危機の場合は適切
第2段階	売り込み	説明を事前に考えておく
第3段階	テスト	ヴィジョンに対する意見を求める
第4段階	相談	オープンエンドの問いを提示
第5段階	共創	個人が心から願うヴィジョンを考え言葉にする時間を与える

センゲ他（邦訳2014）『学習する学校』英治出版, pp.142-153

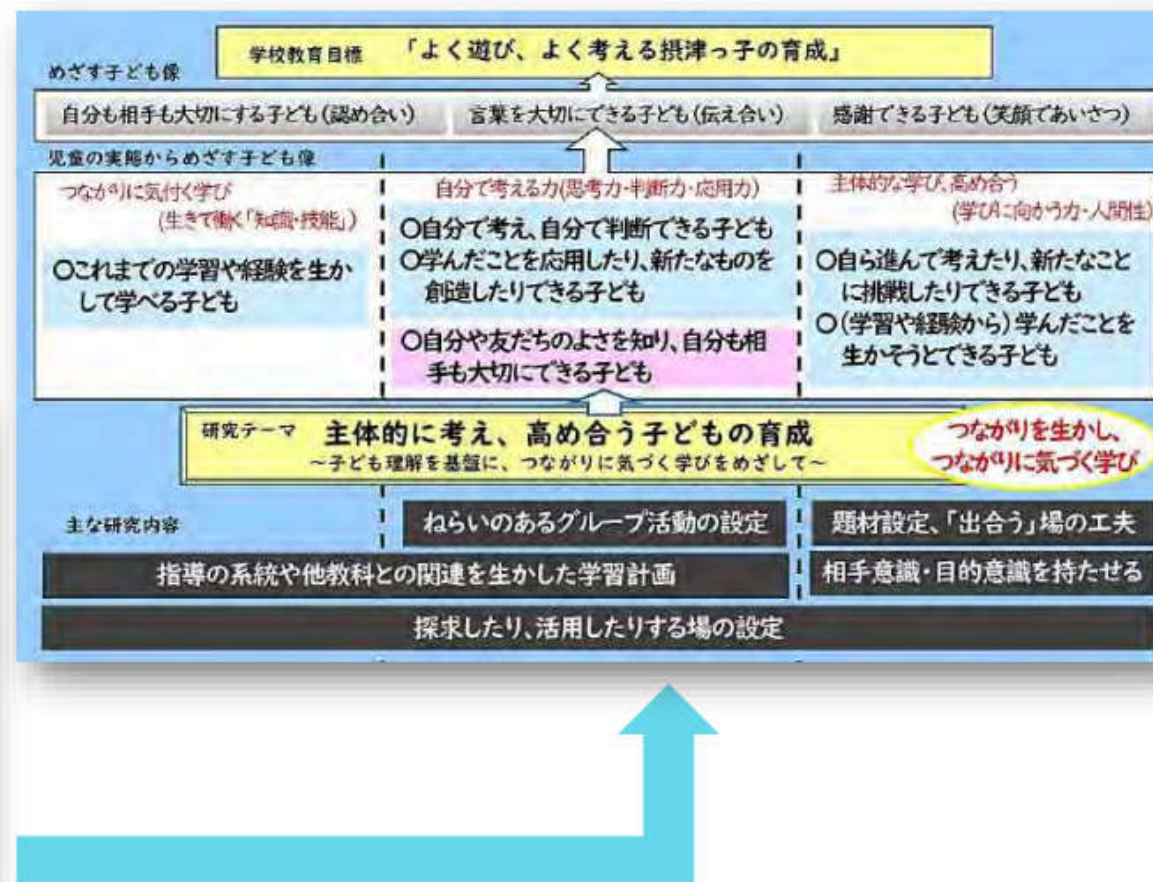


3 学校の教育目標の共有と共創

(1) めざす子ども像の見直し

本校の実態に合った取組みを進めていくために、まずは、本校の児童の「強み」と「課題」を全職員で十分に出し合い、新学習指導要領に示された「育成すべき資質・能力の三つの柱」に沿って、『めざす子ども像』を設定し直した。

【実施時期：5月】



大阪府摂津市立摂津小学校

大阪府教育委員会「カリキュラム・マネジメントの手引き」(令和元・2年度版)より

3 学校の教育目標の共有と共創

「共創」はコストが大きい

→ **できる範囲で小さく始めてみる**

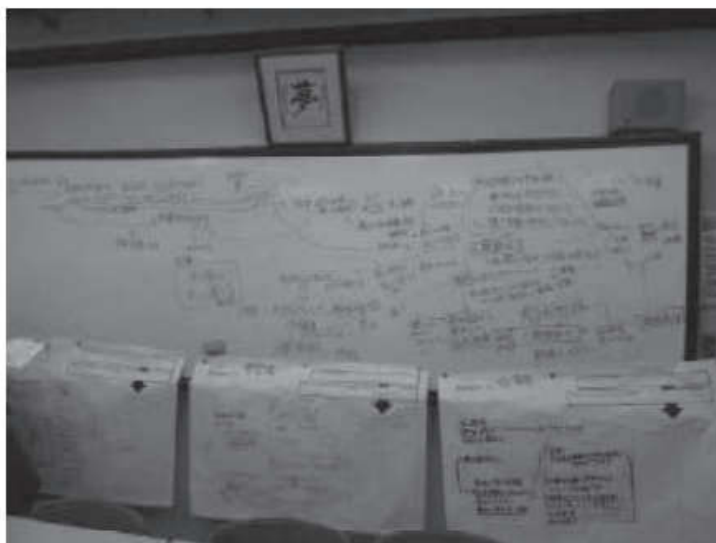
(例)

- 年度当初の職員会議：校長が示す重点教育目標について、学級の児童生徒の具体的な姿を思い浮かべながら教員間で交流
- 学級経営計画：学校の教育目標と学級目標を連動させる
- キャッチフレーズ：学校の校名の頭文字と教育目標を連動させる
- 校長講話や学校行事等の挨拶：教育目標と関連付けた激励やフィードバック

3 学校の教育目標の共有と共創

3.1.実践事例 京都市立葵小学校

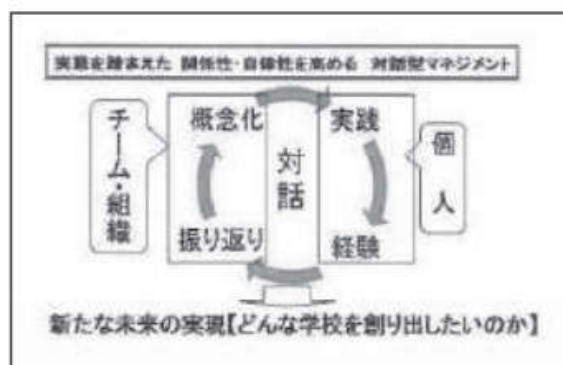
①学校教育目標と育成を目指す資質・能力の設定



自分は何を大切にしたいか、どんな学校にしたいか、子どもたちにどんな力を付けたいか話し合い、思い・願いを共有し言語化する。



②学年会の設定



- ・自分はどうしたいのか
- ・どんな学年にしたいのか
- ・どんな学校にしたいのか

学年会が課題を
解決するチームに

- ↓
- ・毎週月曜日は16:00～学年会をする。
(月曜日が休みの場合は火曜日)
 - ・学年会では予定だけでなく、子どもの姿も話し合う。
 - ・週案を活用する。

3 学校の教育目標の共有と共創

3.1.実践事例 京都市立葵小学校

令和2年度 ☆人間関係力 あおいGlid☆

	ステップ1	ステップ2	ステップ3
自分を適切に評価する力			
課題設定	・自分のしたいことを選んでいる。	・友達や先生と協力して、最も良い課題を選んでいる。	・自分で適切に課題を設定している。
学習計画	・課題を解決するため意見を出している。	・これまでの経験や知識から、課題について予想し、解決するための道筋を考えている。	・課題解決に向けて、計画を修正しながら取り組みを進めている。
振り返り	・何を学んで何ができるようになったかわかる。	・身に付けた力どうしのつながりに気付いている。	・つなげた力をどこでどのように発揮するか考えている。
相手に共感し、お互いの自分らしさを認め合う力			
考えの違い	・違う意見や考えがあることを知り、考えが違っていてもいいことを理解している。	・相手の話を受け止めて、自分の考えをもつことができる。	・安心して考えを出し合う中で、自分と違う考えを受け止め考えを再構築する。
関わり合い	・友達の良いところを見つけている。	・見つけた良さをみんなで共有している。	・他者のために自分の力を発揮する。 ・欠点を補いあっている。
	・誰かと何かを作っている。	・お互いの考えを共有し考えを練り上げながらより良いパフォーマンスをしている。	

3 学校の教育目標の共有と共創

3.1.実践事例 京都市立葵小学校

(参考) 4年生児童の振り返りシート

人間関係力 あおいグリップ 「こんざつね」 ぬりかえり

「こんざつね」をする前 名前()

	ステップ1	ステップ2	ステップ3
自分を適切に評価する力 学習計画	課題を解決するための意見を出している。	これまでの経験や知識から、課題について予想し、解決するための道筋を考えている。	課題解決に向けて、計画を審正しながら取り組みを進めている。
相手に共感し、おたがいの自分らしさをみとめ合う力 考えのちがいを	ちがう意見や考えがあることを知り、考えのちがっていてもよいことを理解している。	相手の話を受け止めて、自分の考えを言うことができる。	確信して意見を申し出ようとする中で、自分とちがう考えを受け止める考えを再確認する。
対話しながら試行錯誤し、新たな価値を生み出す力 協	より良い聞き方を考えている。	人の話を積極的に聞いている。	多様な価値を認めている。
	友達の良い意見や意見を否定せずに聞いている。	友達の良い意見をもっと聞きたいと考えている。	相手の思いを受け止めている。

「ごんぎつね」をした後			
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
自分を適切に評価する力 学習計画	課題を解決するための意見を出している。	これまでの経験や知識から、課題について考え、解決するための道すじを考えている。	課題解決に向けて、計画を修正しながら取り組みを進めている。
相手に共感し、おたがいの自分らしさをみとめよう力 考えのちがいを	ちがう意見や考えがあることを知り、考えがちがっていてもいいことを理解している。	相手の話を受け止めて、自分の考えをもつことが出来る。	客観的に考えを出し合う中で、自分とちがう考えを受け止める考えを再構築する。
対話しながら試行錯誤し、新たな価値を生み出す力 協力	より良い結果を考えたい。 一途の思いや意見を否定せずに聞いている。	人の話を共感的に聞いている。 一途の意見をもっと聞きたいと考えている。	多様な価値を認めている。 相手の思いを受け止めている。

理由

今日はノトなどに書いてある考えを直してい
たと思います。それは、ノトに書いてあることの話が
課題をいろいろな話からずれていたりしたら、しつこ
くして課題のいろいろな話からずれていたりしたから
と、前よりたくさん意見が出せようとしたら
した。それは、考えが「か」でも「い」に「き」かいてきて
いるし、うーん、たぶん、と思います。多様な考えをみて

ルーズリック

⑤

Sもできていたと思ひます。それは、急持ちを要求する言葉は「なだ」の1つの文型にあるということに気が付いたからです。

到達

できていたと思ひます。それは、いりかえりて兵士の急持ちのなだはたきいか回数少ない。それで「なだ」のうつに表せるほど理かりできていたからです。

畢元を通してのふりかえり

このたん元で売持ちを考へることができました。それは糸田かい平^な分にモ^も気を付けて^しるようになつたからだと思ひます。そのことはちかう時にもいへると思ひます。あと、自分の考へも進んでたくましくなりました。90分これは自分が自信をもてるようになったというふうなことと思ひます。あと、国語のレベルが上がったと思ひます。それは、文章の糸田かい平^な分にモ^も気がついたり、話がずれて、不思議なことにモ^も気を付けて、はんのうもいへていけたからです。ふりがえりをもとに^きを考へることができなかつたべ^はは、そのようなことにもちがへんしたといへます。

3 学校の教育目標の共有と共創

3.1.実践事例 京都市立葵小学校

成果

- ・教職員が目的に向かってチームとして働いている。
- ・必要なものが明確になったので、無駄な取り組みが減った。
- ・単元を通して児童にどのような力を付けたいかや、年間を通して児童にどんな姿を望むかを考えて教育活動に取り組む先生が増えた。
- ・学年で授業のことについて話し合い授業力の底上げができていると感じるとともに、教材を共有できるので教材研究の時間を減らすことができた。

(以下、省略)

3 学校の教育目標の共有と共創

3.2.実践事例 山口県宇部市立上宇部中学校

【上宇部中学校区の子どもたちの育ちを地域ぐるみで見守ろう～上宇部中学校区小中一貫教育グランドデザイン～】

夢たまごネット

○宇部市の教育理念○

夢・絆・志 ふるさとを愛し、未来を拓く人づくり

《めざす子どもの姿》

☆上宇部中学校区 -上宇部小学校・琴芝小学校・上宇部中学校- めざす子どもの姿☆
地域に愛着をもち、地域のために行動する子ども～明るく 元気に さわやかに～

☆小中一貫学校教育目標☆

ふるさとを愛し、ふるさとの未来を創る子どもの育成

《なにができるようになるか》

学年	小学校1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校1年	2年	3年	めざす将来の姿
家庭学習の習慣 （学習記録 提出会）	宿題をする			自分で工夫して、復習をする			自分にあった勉強の仕方を見つけて、続ける			学び続ける 
	宿題の確認をする			子どもの自分なりの学習を見守る時には、一緒に考える！			将来に向けて語り合う			
地域行事への参加 （地域清掃 提出会）	地域行事に参加する			地域行事を手伝う			地域行事を企画する			地域をつくる 
	子どもと一緒に地域行事に参加する			子どもと一緒に地域行事を手伝う			子どもに地域行事を任せてみる			
清掃活動への参加 （地域清掃 提出会）	掃除の仕方を知る			友達と協力して掃除をする			率先して掃除をする			みんなが住みよい環境をつくる 
	子どもと一緒に掃除をする〔家庭〕			子どもと地域の清掃活動を手伝う			子どもの清掃活動を見守る			
あいさつの習慣 （挨拶会 提出会）	元氣よくあいさつをする		自分から進んであいさつする			時と場に応じたあいさつをする				人とつながる 
	誰に対してもあいさつをする 家庭の中でも「ありがとう」「おはよう」「おかえり」「おやすみ」を！ + あいさつの源「朝ごはん！」									

《どのように進めるか～夢たまごネットを中心に～》

※夢たまごネット：上宇部中学校区（上宇部小、琴芝小、上宇部中）の地域協育ネット協議会のことです。



ココがポイント!2

家庭、地域、そして子ども等、誰が見てもわかる、わかりやすい言葉で示しましょう。

ココがポイント!4

学校運営協議会等で育てたい子ども像等について熟議して共有しましょう。



▲熟議の様子

ココがポイント!1

中学校区等の教育目標を示しましょう!

ココがポイント!3

中学校区等の重点取組事項が何かわかるようにしましょう。

山口県教育委員会「カリキュラム・マネジメントの手引き」（令和元・2年度版）より

N | + S

独立行政法人教職員支援機構

3 学校の教育目標の共有と共創

3.2.実践事例 山口県宇部市立上宇部中学校

【上宇部中学校区の子どもたちの育ちを地域ぐるみで見守ろう～上宇部中学校区小中一貫教育グランドデザイン～】

夢たまごネット

ココがポイント!1

中学校区等の教育目標を示しましょう!

《めざす子どもの姿》

○宇部市の教育理念○

夢・絆・志 ふるさとを愛し、未来を拓く人づくり



☆上宇部中学校区 -上宇部小学校・琴芝小学校・上宇部中学校- めざす子どもの姿☆
地域に愛着をもち、地域のために行動する子ども～明るく 元気に さわやかに～

☆小中一貫学校教育目標☆

ふるさとを愛し、ふるさとの未来を創る子どもの育成

《なにができるようになるか》

学年	小学校1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校1年	2年	3年	めざす将来の姿	
家庭学習の習慣 (学習記録部)	学力向上	宿題をする			自分で工夫して、復習をする			自分にあった勉強の仕方を見つけて、続ける		学び続ける 4 がんばる子	
	家庭環境	宿題の確認をする			子どもの自分なりの学習を見守る時には、一緒に考える!			将来に向けて語り合う			
地域行事への参加 (地域連携部)	学力向上	地域行事に参加する			地域行事を手伝う			地域行事を企画する		地域をつくる 11 がんばる子	
	家庭環境	子どもと一緒に地域行事に参加する			子どもと一緒に地域行事を手伝う			子どもに地域行事を任せてみる			
清掃活動への習慣 (環境部)	学力向上	掃除の仕方を知る			友達と協力して掃除をする			率先して掃除をする		みんなが住みよい環境をつくる 12 がんばる子	
	家庭環境	子どもと一緒に掃除をする【家庭】			子どもと地域の清掃活動を手伝う			子どもの清掃活動を見守る			
あいさつの習慣 (健康安全部)	学力向上	元氣よくあいさつをする	自分から進んであいさつする			時と場に応じたあいさつをする					人とつながる 17 がんばる子
	家庭環境	誰に対してもあいさつをする 家庭の中でも「ありがとう」「おはよう」「おかえり」「おやすみ」を! + あいさつの源「朝ごはん!」									

《どのように進めるか～夢たまごネットを中心に～》

※夢たまごネット:上宇部中学校区(上宇部小、琴芝小、上宇部中)の地域協育ネット協議会のことです。

ココがポイント!3

中学校区等の重点取組事項が何かわかるようにしましょう。



ココがポイント!2

家庭、地域、そして子ども等、誰が見てもわかる、わかりやすい言葉で示しましょう。

ココがポイント!4

学校運営協議会等で育てたい子ども像等について熟議して共有しましょう。



▲熟議の様子

3 学校の教育目標の共有と共創

3.2.実践事例 山口県宇部市立上宇部中学校

【上宇部中学校区の子どもたちの育ちを地域ぐるみで見守ろう～上宇部中学校区小中一貫教育グランドデザイン～】

夢たまごネット

○宇部市の教育理念○

夢・絆・志 ふるさとを愛し、未来を拓く人づくり

《めざす子どもの姿》

☆上宇部中学校区 -上宇部小学校・琴芝小学校・上宇部中学校- めざす子どもの姿☆
地域に愛着をもち、地域のために行動する子ども～明るく 元気に さわやかに～

☆小中一貫学校教育目標☆

ふるさとを愛し、ふるさとの未来を創る子どもの育成

《なにができるようになるか》

学年	小学校1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校1年	2年	3年	めざす将来の姿
家庭学習 の習慣 (学習記録 部活動)	宿題をする				自分で工夫して、復習をする		自分にあった勉強の仕方を見つけて、続ける			学び続ける
家庭 地域	宿題の確認をする				子どもの自分なりの学習を見守る 時には、一緒に考える！		将来に向けて語り合う			
地域行事 への参加 (地域連携 部活動)	地域行事に参加する				地域行事を手伝う		地域行事を企画する			地域をつくる
家庭 地域	子どもと一緒に地域行事に参加する				子どもと一緒に地域行事を手伝う		子どもに地域行事を任せてみる			
清掃活動 への参加 (環境教育 部活動)	掃除の仕方を知る				友達と協力して掃除をする		率先して掃除をする			みんなが 住みよい 環境をつくる
家庭 地域	子どもと一緒に掃除をする〔家庭〕				子どもと地域の清掃活動を手伝う		子どもの清掃活動を見守る			
あいさつ の習慣 (健康教育 部活動)	元気よくあいさつをする		自分から進んであいさつする			時と場に応じたあいさつをする				人とつながる
	誰に対してもあいさつをする 家庭の中でも「ありがとう」「おはよう」「おかえり」「おやすみ」を！ + あいさつの源「朝ごはん！」									

《どのように進めるか～夢たまごネットを中心に～》 ※夢たまごネット:上宇部中学校区(上宇部小、琴芝小、上宇部中)の地域協育ネット協議会のことです。



ココがポイント!2

家庭、地域、そして子ども等、誰が見てもわかる、わかりやすい言葉で示しましょう。

ココがポイント!4

学校運営協議会等で育てたい子ども像等について熟議して共有しましょう。



▲熟議の様子

ココがポイント!1

中学校区等の教育目標を示しましょう!

ココがポイント!3

中学校区等の重点取組事項が何かわかるようにしましょう。

3 学校の教育目標の共有と共創

3.2.実践事例 山口県宇部市立上宇部中学校

【上宇部中学校区の子どもたちの育ちを地域ぐるみで見守ろう～上宇部中学校区小中一貫教育グランドデザイン～】

夢たまごネット

○宇部市の教育理念○

夢・絆・志 ふるさとを愛し、未来を拓く人づくり

《めざす子どもの姿》

☆上宇部中学校区 -上宇部小学校・琴芝小学校・上宇部中学校- めざす子どもの姿☆
地域に愛着をもち、地域のために行動する子ども～明るく 元気に さわやかに～

☆小中一貫学校教育目標☆

ふるさとを愛し、ふるさとの未来を創る子どもの育成

《なにができるようになるか》

学年	小学校1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校1年	2年	3年	めざす将来の姿	
家庭学習の習慣 (学習記録 取組)	宿題をする				自分で工夫して、復習をする			自分にあった勉強の仕方を見つけて、続ける		学び続ける 	
	宿題の確認をする				子どもの自分なりの学習を見守る時には、一緒に考える!			将来に向けて語り合う			
地域行事への参加 (地域連携 取組)	地域行事に参加する				地域行事を手伝う			地域行事を企画する		地域をつくる 	
	子どもと一緒に地域行事に参加する				子どもと一緒に地域行事を手伝う			子どもに地域行事を任せてみる			
清掃活動への参加 (地域連携 取組)	掃除の仕方を知る				友達と協力して掃除をする			率先して掃除をする		みんなが住みよい環境をつくる 	
	子どもと一緒に掃除をする【家庭】				子どもと地域の清掃活動を手伝う			子どもの清掃活動を見守る			
あいさつの習慣 (家庭学習 取組)	元氣よくあいさつをする		自分から進んであいさつする			時と場に応じたあいさつをする					人とつながる 
	誰に対してもあいさつをする 家庭の中でも「ありがとう」「おはよう」「おかえり」「おやすみ」を! + あいさつの源「朝ごはん!」										

《どのように進めるか～夢たまごネットを中心に～》

※夢たまごネット:上宇部中学校区(上宇部小、琴芝小、上宇部中)の地域協育ネット協議会のことです。



ココがポイント!2

家庭、地域、そして子ども等、誰が見てもわかる、わかりやすい言葉で示しましょう。

ココがポイント!4

学校運営協議会等で育てたい子ども像等について熟議して共有しましょう。



▲熟議の様子

中学校区等の重点取組事項が何かわかるようにしましょう。

山口県教育委員会「カリキュラム・マネジメントの手引き」(令和元・2年度版)より

N | + S

独立行政法人教職員支援機構

3 学校の教育目標の共有と共創

3.2.実践事例 山口県宇部市立上宇部中学校



3 学校の教育目標の共有と共創

3.3.実践事例 兵庫県立姫路北高等学校

「どんな生徒に、どんな力を、どんな場面で、どんな方法で」を生徒・保護者・企業、そして全教員で探究

STEP 1

教員が考える「生徒に身につけて欲しい能力」に関するアンケート（自由記述）を実施

教員に「『生徒に〇〇のような能力を伸ばせば、もっとよくなるのに…』と考えて」と伝えることで「生徒にできて欲しいこと・できないこと」が明確化され、約100個の意見を4つの資質・能力（「学力」「主体性」「協調性」「社会性」）に分類し、各領域内で最も重視すべき意見を投票によって選出した。

STEP 2

生徒の学校環境適応感尺度（アセス）について調査

広島大学大学院教授の栗原慎二氏と同大学教授の井上弥氏の共同研究によるアンケート調査を実施。生徒の自尊感情や自己有用感が高いとは言えず、保護者や教員等の他者支援が不可欠であることがわかった。

STEP 3

生徒、保護者、企業に卒業までに身につけたい（つけてほしい）力について調査

教員が必要と考えた資質・能力について、生徒や保護者や企業がどのように感じているかを調査し、生徒、保護者の思い、企業の求める力を明確化した。

ポイント!



STEP 4

向上させたい資質・能力を焦点化し、授業研究を推進

「社会性」に焦点化し、校内研修を実施。授業中のケータイ使用問題について「暇な時間がある」ことが使用の最大理由であるというアンケート結果分析より授業改善が必要と考え、教科の垣根を越えた主体性を育むためのICTを活用した授業研究を実施。

実社会で役立つ資質・能力を示したグランドデザインの策定

すべての場面がカリキュラム

すべての教師でマネジメント



独立行政法人教職員支援機構

兵庫県教育委員会
『未来への道を
切り拓く力を育む』
カリキュラム・マネジメント』
(令和元・2年度)より

3 学校の教育目標の共有と共創

3.3.実践事例 兵庫県立姫路北高等学校

STEP 1

教員が考える「生徒に身につけて欲しい能力」に関するアンケート（自由記述）を実施

教員に「「生徒に〇〇のような能力を伸ばせば、もっとよくなるのに…」と考えて」と伝えることで「生徒にできて欲しいこと・できないこと」が明確化され、約100個の意見を4つの資質・能力（「学力」「主体性」「協調性」「社会性」）に分類し、各領域内で最も重視すべき意見を投票によって選出した。

3 学校の教育目標の共有と共創

3.3.実践事例 兵庫県立姫路北高等学校

STEP 1

教員が考える「生徒に身につけて欲しい能力」に関するアンケート（自由記述）を実施

教員に「「生徒に〇〇のような能力を伸ばせば、もっとよくなるのに…」と考えて」と伝えることで「生徒にできて欲しいこと・できないこと」が明確化され、約100個の意見を4つの資質・能力（「学力」「主体性」「協調性」「社会性」）に分類し、各領域内で最も重視すべき意見を投票によって選出した。

STEP 2

生徒の学校環境適応感尺度（アセス）について調査

広島大学大学院教授の栗原慎二氏と同大学教授の井上弥氏の共同研究によるアンケート調査を実施。生徒の自尊感情や自己有用感は高いとは言えず、保護者や教員等の他者支援が不可欠であることがわかった。

3 学校の教育目標の共有と共創

3.3.実践事例 兵庫県立姫路北高等学校

STEP 1

教員が考える「生徒に身につけて欲しい能力」に関するアンケート（自由記述）を実施

教員に「「生徒に〇〇のような能力を伸ばせば、もっとよくなるのに…」と考えて」と伝えることで「生徒にできて欲しいこと・できないこと」が明確化され、約100個の意見を4つの資質・能力（「学力」「主体性」「協調性」「社会性」）に分類し、各領域内で最も重視すべき意見を投票によって選出した。

STEP 2

生徒の学校環境適応感尺度（アセス）について調査

広島大学大学院教授の栗原慎二氏と同大学教授の井上弥氏の共同研究によるアンケート調査を実施。生徒の自尊感情や自己有用感は高いとは言えず、保護者や教員等の他者支援が不可欠であることがわかった。

STEP 3

生徒、保護者、企業に卒業までに身につけたい（つけてほしい）力について調査

教員が必要と考えた資質・能力について、生徒や保護者や企業がどのように感じているかを調査し、生徒、保護者の思い、企業の求める力を明確化した。

ポイント!



3 学校の教育目標の共有と共創

3.3.実践事例 兵庫県立姫路北高等学校

STEP 1

教員が考える「生徒に身につけて欲しい能力」に関するアンケート（自由記述）を実施

教員に「「生徒に〇〇のような能力を伸ばせば、もっとよくなるのに…」と考えて」と伝えることで「生徒にできて欲しいこと・できないこと」が明確化され、約100個の意見を4つの資質・能力（「学力」「主体性」「協調性」「社会性」）に分類し、各領域内で最も重視すべき意見を投票によって選出した。

STEP 2

生徒の学校環境適応感尺度（アセス）について調査

広島大学大学院教授の栗原慎二氏と同大学教授の井上弥氏の共同研究によるアンケート調査を実施。生徒の自尊感情や自己有用感が高いとは言えず、保護者や教員等の他者支援が不可欠であることがわかった。

STEP 3

生徒、保護者、企業に卒業までに身につけたい（つけてほしい）力について調査

教員が必要と考えた資質・能力について、生徒や保護者や企業がどのように感じているかを調査し、生徒、保護者の思い、企業の求める力を明確化した。

ポイント!



STEP 4

向上させたい資質・能力を焦点化し、授業研究を推進

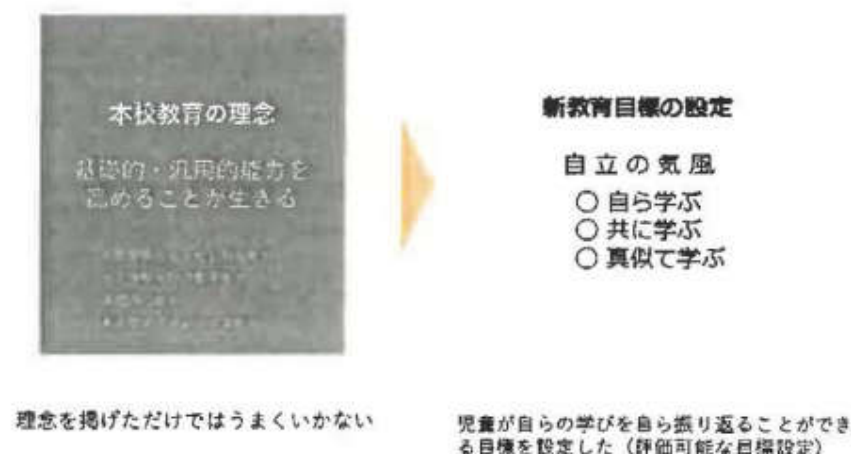
「社会性」に焦点化し、校内研修を実施。授業中のケータイ使用問題について「暇な時間がある」ことが使用の最大理由であるというアンケート結果分析より授業改善が必要と考え、教科の垣根を越えた主体性を育むためのICTを活用した授業研究を実施。

新教育目標を設定したこと

児童が自らの学びを自ら振り返ることができる目標を設定した。「自ら学んでる」 「共に学んでる」 「お手本はある」 「計画はある」 と語尾を上げることで児童自身が振り返ることができる、評価可能な目標とした。【図Ⅲ－１－①】

新教育目標を設定したことで、常に児童と教師が「今の自分はどうか」と振り返り、次につなげるようになった。

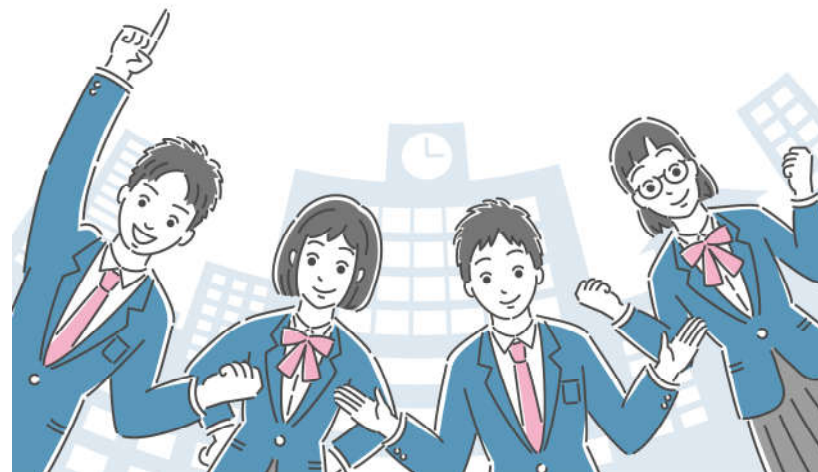
【図Ⅲ－１－①】 新教育目標の設定



福島県棚倉町立社川小学校

福島県棚倉町教育委員会「カリキュラム・マネジメントの手引き」（令和3・4年度）より

おわりに



学校の教育目標を共有して
対話，活動，つながり…
チームになって
楽しいカリキュラム・マネジメントを！